

## 令和5年度群馬県健康推進学校表彰

### 【小学校】

学 校 名	審査結果	取組の概要
桐生市立 新里中央小学校	優良賞	<p>新里中学校区内4校（小学校3校・中学校1校）で、メディアや睡眠、学習時間などの望ましい生活について、共通の指標「新里スタンダード」を活用し、年3回の『生活ふり返りカード』を活用した生活リズムチェックは、結果等を校区内4校による合同保健委員会で共有している。</p> <p>規則正しい生活習慣について、保健主事である担任と養護教諭によるTTの授業を保健体育の学習で行い、桐生市・みどり市学校保健会事業である「児童保健活動公開協力校」の公開授業や、桐生市・みどり市学校保健会研究協議会で発表を行った。「生活ふり返りカード」を活用したスモールステップによる基本的な生活習慣の改善への取組は、健康課題を自分事として捉える持続可能な実践として、他校のよい手本となり、学校・家庭・地域と連携した健康教育を推進している。</p>
館林市立 第十小学校	奨励賞	<p>保健・給食委員会、児童会本部等、児童主体の活動を通して、健康課題を自分事に捉え、校内のけがの減少や、児童保健委員会の活動に下学年の児童がボランティアとして参加する姿など、実践力の育成が成果に現れている。</p> <p>コロナ禍における学校と家庭が連携した感染症対策、目の健康づくりに焦点を当てた「十小 10のチャレンジ」等、校内が一体となって進める健康教育は、学校生活のみならず、児童自身や家族の健康への関心を高め、主体性・実践力につながり、地域の学校の模範にもなっている。保健・体育・給食・生徒指導部等の校内関係部会や、学校医、給食センター等の校外関係機関と連携し、さらに家庭への啓発や学校運営協議会との連携を図ることにより、家庭や地域も学校とともに健康教育を推進している。</p>
みどり市立 大間々北小学校	奨励賞	<p>児童会、保健・図書委員会など児童が中心となって生活習慣の改善や学習に積極的に取り組み、教職員も養護教諭、保健主事、担任、学力向上コーディネータ、研修主任等の各担当がチームとして組織的に実践している。</p> <p>「生活習慣チェック表『げんき7点』」は、校区の中学校と実施時期を合わせ、各学期1回、5日間、「スペシャルスタディウイーク」として行い、アウトメディアと家庭学習の推進に効果的な取組である。ICT活用を積極的に取り入れ、生活習慣チェック表を保護者がスマートフォンから入力でき、家庭との連携を工夫している。さらに、校区の中学校と連携した地域学校保健委員会を開催して、学校医の専門的な助言を基に活動を推進し、学校・家庭・地域が連携して健康意識を高め、成果を上げている。</p>

【中学校】

学 校 名	審査結果	取組の概要
太田市立 綿打中学校	奨励賞	<p>健康教育に関わる関係職員で「命・健康チーム」を組織し、学校保健委員会により学校医、PTAとの連携を深め、推進体制が整っている。重点課題を「メディア使用の適切な管理」とし、年2回行う「生活向上キャンペーン」では、保健委員会や各委員会が生徒主体で学校生活の質を向上させる活動に取り組み、学校保健委員会を通じて問題提起や対策を啓発し、学校全体で実践している。</p> <p>Google Formsを活用した生活リズムチェックを行い、アウトメディア週間には、フォーサイト手帳にメディアの使用内容や時間を記入して生活習慣を振り返り、授業でもフォーサイト手帳を活用している。主体的な生活習慣の改善、家庭でのルールづくりを啓発して実践の効果を上げ、学校・家庭・地域と組織的な実践を推進している。</p>

【義務教育学校】

学 校 名	審査結果	取組の概要
桐生市立 黒保根学園	優秀賞	<p>小中一貫の義務教育学校として2年目を迎え、9年間の発達段階に応じた健康教育を実践し、学校・家庭・地域の連携や協働によるコミュニティ・スクールとしても特色ある学校づくりを進めている。</p> <p>重点課題の1つ目である「体力づくりの土台となる基本的な生活習慣の確立」に向けて、「コツコツ貯金」や「生活リズムチェック」を家庭と連携して行い、指導や啓発に取り組んでいる。2つ目の重点課題「歯や口の健康づくり」では、9年間の歯科保健計画に基づき、効果的なブラッシング指導を行っている。学校保健委員会や保健集会では、保健劇「はみがき戦隊！みがくんじゃー！！」を通して、歯みがきのポイントやむし歯の治療を児童が啓発し、歯科受診率の向上にもつながっている。学校医、地域保健師と連携して学校保健委員会の活性化を図り、家庭・地域との連携を深め、組織的な健康教育を推進している。</p>